

# 北里大学理学部同窓会報

2018年 第21号



平成29年度 定期総会集合写真

## CONTENTS

会長あいさつ……………	P 2	集会援助手続……………	P 11
退任にあたって……………	P 3	大村智先生講演会開催……………	P 12
菅原先生退官記念講演のお知らせ……………	P 3	鹿児島支部設立のお知らせ……………	P 12
平成29年度理学部同窓会定期総会報告……………	P 4	理学部事務室より……………	P 13
就職ガイダンス……………	P 6	平成31年度理学部入学試験日程（予定）……………	P 14
近況報告バトンタッチ……………	P 7	就職センター、同窓会からのお願い……………	P 15
同期会報告……………	P 11		



## 「会長あいさつ」

理学部同窓会会長 沼上 清彦  
(HC6)

会員の皆さまには、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

本会は、2017年3月に理学部として20期目の卒業生を迎え入れ、会員数が旧衛生学部卒業生と合わせて7,549名となり、会員間の親睦を図り、母校の発展に寄与することを旨として、活動しております。

おかげ様で2017年度の定期総会におきまして、所定の議案をすべてご承認いただきましたので、現在、ルーチン化された諸事業に加え、理学部卒業生が過半数を占める新しい理学部同窓会の礎をつくることや役員世代交代を図ることなどのテーマの実現に向けて、任期最終年の任に当たっております。

さて、理学部と医療衛生学部は、2019年度に創立25周年を迎えます\*。これに伴い両学部合同で記念行事が企画されており、本会と医療衛生学部同窓会は連携してこれに協力することを申し合わせております。

これら記念事業が具体的になりましたら、会報やホームページを通じて会員の皆さまにお知らせさせていただきますので、その節にはご支援、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

なお、本会が旧衛生学部同窓会から理学部同窓会に改組したのは、理学部の発足と同時の1994年4月ですので、理学部同窓会としては理学部同様に2019年が25周年ということになります。しかし、創立という場合はそのルーツに遡るのが一般的ですので、本会の創立は、当初の構成員が旧衛生学部卒業生だけであった北里大学同窓会の設立された1966年4月であるという認識で一致しています。

すなわち、本会は北里大学同窓会の学部同窓会の中では、医療衛生学部同窓会と並び最も歴史のある設立51年を数える部会であるわけです。

ところで、白金キャンパスは2017年秋に一応の整備が一段落しましたので、白金で学生時代を過ごされた旧衛生学部の卒業生におかれましては、是非同期会を白金で開催してはいかがでしょうか。同年10月にオープンした北里大学柴三郎記念館の2階には同窓会や同窓生が利用できる会議室やラウンジが設置されています。



北里柴三郎記念館（北里研究所HPより許可を得て転載）

ちなみに1階にある北里柴三郎記念室の次長は本会代議員の森孝之氏（HC14）です。展示室では北里柴三郎博士の学術研究論文、公的活動に関連した資料や恩師・恩人・門下生等の資料が展示されており、加えて2015年にノーベル生理学・医学賞を受賞された特別荣誉教授大村智博士の特別コーナーもありますので、開館日をご確認の上、是非ご利用ください。

最後に、会員の皆さまのご健勝とご発展を祈念申しあげ、ご挨拶とさせていただきます。

\*旧衛生学部から理学部への組織変更は、前者の廃校、後者の新設であるため、理学部の創立は1962年4月に遡ることなく、1994年4月ということになります。



## 退任にあたって

物性物理学講座教授 菅原 洋子

原稿の依頼をいただいたのが7月末、まだ、退任にあたっての文を書くには実感が乏しく、そと寝かせてありました。折々に何かしらの感慨があるかと予想していましたが、日々あまりにあわただしく、常の年のように毎日が流れていくうちに10月末をむかえてしまいました。振り返ってみると、やはり、着任当初の毎日には、忘れがたいものがあります。

1994年4月、理学部発足と共に北里大学に着任しました。着任時点では、A1号館の講義室で講義を行い、研究室はA2号館の一部を使わせて頂いておりました。発足から4年目、大学院のスタートにあわせてS号館が建設され、第1回生の学生さんにお手伝い頂いて引っ越しを行いました。以来、3月には、理学部として21回目の卒業生を送り出し、そして、3月末をもって、定年を迎えることとなります。理学部1回生の皆さんは、既に40代半ば、社会の中堅としてご活躍と思います。1回生の方々と卒業研究を進めた毎日を思い浮かべると、やはり、格別の思いがあります。

発足年の学生実験の立ち上げでは、白金キャンパスでの就任式を終え、そのまま相模原キャンパスの実習室へ直行し、物理学科は新設学科であったため、教員全員で届いていた学生実験器具の梱包をほどいて学生実験の準備を開始、テスト実験を行い、テキストを作成し・・・今思うと、よく、実習開始に間に合ったと思います。関係のすべての先生方のご努力とチームワークの賜物です。2年目からは担当講義科目として「物理実験学」が始まり、授業アンケートを書いてもらったところ「先生が緊張しているので、こちらも緊張してしまう」というコメントがあったのも忘れられない思い出です。大学院を終え理化学研究所に12年間勤務したのち、北里大学に着任した身としては、非常勤で学生実験指導は経験して

いたのですが、講義経験は零に等しく、講義室へ入って行って第一声は何と言ったらよいかと戸惑ったものでした。以来、本年、講義を行った「生体分子物理学」、「基礎物理学」、「科学英語」まで、いろいろな講義を待たせていただきました。また、学生実験については、1年生対象の課題から3年生対象の課題まで、延べ10課題以上を立ち上げたり、担当したりしてきました。

山村講師と2人で直接指導した卒業研究生は100人を超え、大学院生も20人ほどになります。卒業研究や大学院指導では、テーマの軽重はともかく、結果が未知の内容について、実験（もしくは計算科学）で取り組むという立場でテーマ設定をしてきました。順調に展開したテーマもちろんありましたが、そんな幸運に出会えた学生はむしろ少数派の気がします。いざスタートしてみると、予測が外れて、学生さんとともに四苦八苦したテーマも多くあり、過ぎてみると、そんなテーマの方が、むしろ思い出深く感じます。卒業研究の要旨締め切りの前夜が、学生と徹夜になった年もありました。

着任時は、まだ、相模大野駅は改修工事中でした。ステーションスクエアができ、さらに、ポーノができて、相模大野駅も小田原線と江ノ島線ののんびりとした分岐駅から、現代的な街へと変身しました。正門を入るとグラウンドが広がり、春にはカッコウの鳴き声が聞こえ、秋には窓の外には赤トンボが飛び交っていた相模原キャンパスも、L1号館ができ、病院が新しくなり、大きく変わろうとしています。

末筆になりますが、同窓会の皆様には、就職ガイダンス、卒業研究功労賞他、人的なご支援から物的なご支援まで、常に、お心配り頂きました。ここで改めて、御礼申し上げますとともに、北里大学理学部と同窓会の今後の益々のご発展をお祈り申し上げます。

## 菅原先生退官記念講演のお知らせ

日時 平成30年3月8日(木) 16時～17時

場所 L1号館 32講義室

の予定です。





# 平成29年度理学部同窓会定期総会報告



平成29年度理学部同窓会定期総会が5月20日（土）、午後12時45分から相模原キャンパスS号館（理学部校舎）3階セミナー室に於いて開催されました。終了後、真崎学部長、川崎物理学科長、石川化学科長、木村生物科学科長、米田就職指導委員長並びに苫米地事務長にご出席を頂き、学部、各学科、就職関係および事務室からの近況説明が行われました。その後、ドミトリー2階喫茶室に於いて懇親会を行いました。

**出席者：48名**（第1号議案の3名を含む）：長原勝彦（HC1）、櫻井典子（HC2）、竹澤美男（HC4）、中野勝雄（HC5）、沼上清彦（HC6）、小沼和久（HC6）、麻生綱男（HC8）、蓮沼良一（HC11）、國香 清（HC11）、島崎道広（HC12）、藤本玲子（HC12）、氏家重夫（HC12）、内田 宏（HC14）、森 孝之（HC14）、須貝昭彦（HC18）、田所順一（HC19）、八井田文子（HC19）、甲斐恒人（HC20）、椎名文乃（HC24）、木村武俊（HB1）、千葉貴子（HC28）、渡辺知広（HC30）、前川敏郎（HB4）、村上裕章（HC31）、福山勝也（HC31）、篠川裕子（HB5）、石原 稔（HC32）、酒井利奈（SP1）、桑原美保子（SP1）、田村 啓（SB4）、三浦慎一郎（SB5）、千ヶ崎裕介（SC7）、松本俊英（SP8）、小野憲司（SP8）、荒木恒平（SC9）、富澤良弘（SC10）、齋藤昂良（SB10）、菅谷大地（SB10）、曾根靖人（SC11）、小林宣文（SP11）、奥田悠介（SP12）、石毛達也（SB12）、逸見拓谷（SC17）、小田本実佳（SB17）、沖山悠太（SC19）、池谷侑紀（SP20）、吉成英里佳（SC20）、樫原里奈（SB20）

**委任状提出者：42名**：小池惇平（HC1）、坂口 洋（HC2）、西尾公男（HC3）、石原裕三（HC7）、石川一郎（HC9）、石水 和夫（HC10）、衣川佳美（HC13）、星名達行（HC15）、伏見尚登（HC16）、飯島 宏（HC20）、小泉博之（HC22）、小笠原正勝（25）、櫛部一彦（HC26）、竹尾文彦（HC26）、吉田奈美（HC29）、嶋宮民安（HB3）、矢口 晶（HB4）、秋本 護（HB4）、井村幸介（HB6）、中條総子（SC1）、江島史緒（SB2）、中野章代（SC3）、小林琢也（SB3）、小林麻衣（SP4）、藤井祐介（SC4）、吉本真紀子（SB4）、東海林周平（SC6）、佐々木千明（SB6）、吉野成嗣（SB7）、森口友敬（SB8）、田草川英昇（SP9）、江澤絵真（SB9）、大滝正訓（SP7）、今村 敦（SP10）、露木早紀（SB11）、高峯美文（SP13）、厚木将志（SC13）、上村和豊（SB13）、杉本 愛（SP15）、山神廉弥（SP18）、新美 恭（SC18）、三田一帆（SB18）

**欠席者：30名**：山田 淳（HC17）、立松佐吉（HC18）、鈴木芳弘（HC21）、山下宣行（HC23）、長谷部浩司（HC27）、伊藤昌史（HB1）、佐藤康之（HC28）、坂内健志（HB2）、吉瀬晴子（SB1）、平山幸司（SP2）、河合 匡（SC2）、山本あゆみ（SP3）、矢野太一（SC3）、大西 新（SP5）、田辺由美子（SC5）、國廣喜央司（SP6）、武者孔佑（SP7）、鈴木健太郎（SC8）、上村勇介（SC12）、保住厚兵（SP14）、神田章宏（SC14）、千葉 慧（SB15）、南川晴紀（SP16）、川崎貴之（SC16）、藤川圭太（SB16）、長谷川祐紀（SP17）、松本慧一（SP19）、梅川恵美（SB19）、**新山勇人**（SB14）、**田中雅史**（SC15） ※太字は住所不明

＜第1号議案終了後、総会構成員数は120名＞

## 1. 開会の挨拶

司会の松本理事（SP8）から、規約第15条第2項に規定する総会構成員数（報告事項まで）117名に対して1/3以上が出席し、所定の定足数に達した旨を述べ、定期総会の成立することが報告され、開会を宣言した。

## 2. 議長団の選出

議長に小林代議員（SP11）、副議長に蓮沼理事（HC11）、議事録署名人に篠川代議員（HB5）、島崎理事（HC12）が全会一致で承認された。

## 3. 沼上同窓会長挨拶

沼上会長（HC6）から出席者へ日頃の同窓会活動への理解と協力に対する謝辞が述べられた。続いて、理学部の卒業生は20期目を迎え同窓生数が7,549名となったこと、また平成31年度に理学部と医療衛生学部が創立25周年を迎えるため、医療衛生学部同窓会と共同で、両学部の合同記念事業を支援し、もって会員間の親睦を図り、母校の発展に寄与していきたいとの説明が行われた。

終わりに、本日の総会で忌憚のないご意見を頂きたいとの要望が行われた。

## 4. 報告および決議事項

### ★ 報告事項

#### 1) 平成28年度事業報告および平成28年度収支決算報告の件

千葉事業担当副会長（HC28）から平成28年度事業報告を、また須貝財務担当副会長（HC18）から平成28年度収支決算書に沿ってそれぞれ報告した。

#### 2) 監査報告の件

村上監事（HC31）から、平成28年度の会計および事業執行について、監査した結果、正確かつ妥当であった旨、報告があった。

平成28年度の事業、決算および監査報告を審議し、全会一致で承認された。

### 平成28年度収支決算書

自平成28年4月1日 至平成29年3月31日

収入の部		(単位：円)		
費 目	① 予 算	② 決 算	増 減 (②-①)	
学 部 還 元 金	5,268,000	5,268,000	0	
年 会 費	300,000	400,000	100,000	
会 報 送 料 補 助	383,000	383,000	0	
利 子	3,000	1,655	△ 1,345	
前年度事業資金	250,000	250,000	0	
雑 収 入	0	10,000	10,000	
積 立 金 戻 入	500,000	0	△ 500,000	
前年度繰越金	683,278	683,278	0	
合 計	7,387,278	6,995,933	△ 391,345	

### 支出の部 (単位：円)

分類	大項目	中項目	① 予 算	② 決 算	増 減 (②-①)	
運 営 費	会 議 費	総 理 事 会 費	1,650,000	802,420	1,322,399	
		理 事 会 費		438,979		
	事 務 局 費	委 員 会 費	委 員 会 費		81,000	1,214,603
			事 務 人 件 費		1,147,368	
通 信 費		通 信 費	1,730,000	21,502	40,036	
		物 件 費		40,036		
渉 外 費	慶 弔 費	慶 弔 費	300,000	14,751	65,231	
		交 際 費		50,480		
事 業 費	集 会 援 助 費		200,000	132,600	△ 67,400	
	会 報 発 行		1,350,000	1,106,333	△ 243,667	
	就 職 ガ イ ド ア ン ス		600,000	573,350	△ 26,650	
	教 職 員 と の 懇 談 会	懇 談 会 費	250,000	203,623	△ 46,377	
	学 部 へ の 寄 贈 品	図 書	100,000	99,979	△ 21	
		物 品	500,000	599,979		
	講 演 会 協 力 費	担 当 手 当	100,000	76,000	△ 24,000	
	卒 業 研 究 功 労 賞		240,000	240,000	0	
	カ ミ ン グ ホ ー ム		0	0	0	
	準 会 員 支 援	卒 業 祝 賀 会 協 賛 金	150,000	122,360	△ 27,640	
	ホ ー ム ペ ー ジ	プ ロ バ イ ダ ー 費	50,000	8,769	△ 41,231	
	Kitasato100×50	寄 付	0	0	0	
	積 立 金		0	0	0	
次 年 度 用 事 業 資 金		0	0	0		
予 備 費		167,278	0	△ 167,278		
合 計		7,387,278	5,665,247	△ 1,722,031		

次年度繰越金 1,330,686

### 貸借対照表

平成29年3月31日現在

(単位：円)

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
現 金	235,410	前 期 積 立 金	12,670,638
郵 便 貯 金	638,502	次 年 度 繰 越 金	1,330,686
普 通 預 金	5,962,871		
事 務 局 用 普 通 預 金	61,648		
定 期 預 金	7,102,893		
合 計	14,001,324	合 計	14,001,324

### 平成28年度監査報告書

北里大学理学部同窓会規約第9条第4号の規程に基づき、平成28年度（自・平成28年4月1日 至・平成29年3月31日）の会計並びに事業の執行を監査した結果、正確かつ妥当であることを認めます。

平成29年4月8日

北里大学理学部同窓会

監事 村上裕章  
監事 櫻井典子

### ★決議事項

#### 第1号議案 新代議員選任（3名）の件

沼上会長から、池谷侑紀氏（SP20）、吉成英里佳氏（SC20）および樫原里奈氏（SB20）の新代議員3名の提案説明があり、審議し、選任された。

#### 第2号議案 平成29年度事業計画案

千葉副会長から平成29年度事業計画案について説明が行われた。

#### 第3号議案 平成29年度予算案の件

須貝副会長から平成29年度予算案に沿って説明が行われた。

第2号議案と第3号議案の説明後、全会一致で平成29年度事業計画案および平成29年度収支予算案が承認された。

平成29年度事業計画

- 1 会報の発行  
同窓会報第21号（通算47号）を平成30年1月に発行する。
- 2 学部教職員との懇談会の開催  
学部教職員との懇談会を平成29年7月1日（土）に開催する。
- 3 会員集会援助の継続  
同窓生が同期会等を開催する際、200名までは1名あたり200円を、201名以上は1名あたり100円を援助する。ただし、同一趣旨の会への援助は年1回までとする。
- 4 ホームページの運用
  - 1) 新しい情報を会員へ提供するため、ホームページを随時更新する。
  - 2) ホームページへ同期会開催案内等を掲載する。
  - 3) SNSでの情報提供に関して検討する。
- 5 会員情報の管理  
本会の個人情報保護方針に即して、北里大学同窓会と連携しながら会員情報を管理・運営する。なお、会員集会援助に伴うDM用タックシールおよび当該名簿一覧表は継続的に提供する。
- 6 第23回就職ガイダンスの開催（平成29年度理学部就職ガイダンス共催）  
平成29年10月28日（土）に理学部3年生、修士1年生および博士2年生を対象とした就職ガイダンスを理学部と共催する。
- 7 北里大学同窓会公開講演会への協力  
北里大学同窓会公開講演会（医学部同窓会担当）に協力する。
- 8 学部への寄贈  
寄贈図書：10万円相当の学生（準会員）利用図書を学部図書館へ寄贈する。
- 9 第12回「卒業研究功労賞」の表彰  
卒業研究において学生の取りまとめ等、秀でた活動を行った学生に対して卒業研究功労賞を授与する。
- 10 準会員事業への協力（卒業記念パーティー）  
卒業記念パーティーに祝い金を持参する。
- 11 その他

平成29年度収支予算

平成29年4月1日 至平成30年3月31日

収入の部

(単位：円)

費目	①平成29年度	②平成28年度	増減(①-②)
学部還元金	5,166,000	5,268,000	△102,000
年会費	300,000	300,000	0
会報送料補助	394,000	383,000	11,000
利子	2,000	3,000	△1,000
前年度事業資金	0	250,000	△250,000
雑収入	0	0	0
積立金戻入	0	500,000	△500,000
前年度繰越金	1,330,686	683,278	647,408
合計	7,192,686	7,387,278	△194,592

支出の部

(単位：円)

分類	費目	平成29年度	平成28年度	増減(①-②)
運営費	総会費	1,000,000		
	理事会費	550,000		
	委員会費	100,000		
	事務人件費	1,350,000		
	通信費	50,000		
	物件費	300,000		
渉外費	雑費	30,000		
	慶弔費	200,000		
	交際費	100,000		
事業費	集会援助費		200,000	0
	会報発行		1,350,000	0
	就職ガイダンス		600,000	0
	教職員との懇談会		250,000	0
	懇談会費		250,000	0
	学部への寄贈品	100,000	100,000	0
	図書	0	100,000	△500,000
	物品	0	500,000	0
	講演会費		100,000	0
	担当手当		100,000	0
	卒業研究功労賞		240,000	0
ホームページ		50,000	0	
カミングホーム		0	0	
準会員支援	卒業祝賀会協賛金	150,000	150,000	0
積立金		0	0	0
次年度用事業資金		250,000	0	250,000
予備費		222,686	167,278	55,408
合計		7,192,686	7,387,278	△194,592

議長団の解任および閉会の辞

司会の松本理事から、議事の終了が宣言され、議長団が解任された後、閉会を宣言した。

総会閉会后、時間があリ自由討論を行い、今後の代議員制度など有意義な意見交換が行われた。

その後、学部説明会には真崎学部長、川崎物理学科長、石川化学科長、木村生物科学科長、米田就職指導委員長および苦米地事務長が出席され、学部事務から「理学部説明会の資料」と「理学部パンフレット」などが総会出席者に配付され、理学部説明会資料を基に学部・各学科・就職・事務関係などの近況報告を頂きました。

理学部校舎前にて先生方、出席者で記念撮影を行い、懇親会場のドミトリ-2階喫茶室に移動し、先生方を交えて和やかに歓談し、交流を深めました。

懇親会終了後、例年通り二次会を相模大野駅近辺に於いて開催、若い代議員の出席も増え、活発な意見交換の場となっていると感じました。平成30年度理学部定期総会開催後に於ける、例年開催会場となっている懇親会場が閉鎖の為、現在検討中です。理事会で決定後、本会同窓会HP上などでお知らせします（総務担当記）。

## 平成30年度年会費納入のお願い

本会活動のより活発な活動の為に平成30年度会費の納入をお願いします。

**年会費：3,000円**

納入方法：1) 他の金融機関から「ゆうちょ銀行」に振り込む場合

■ 銀行名 ゆうちょ銀行 ■ 金融機関コード 9900 ■ 店番 029  
 ■ 預金種目 当座 ■ 店名 ○二九店（ゼロニキユウ店） ■ 口座番号 0060155

2) 郵便振替の場合

■ 口座番号 00260-9-60155 ■ 加入者番号 北里大学理学部同窓会

★お知らせ★

本会会員同士で結婚されている場合の年会費は、お二人で1名分になります。

年会費納入時に振込用紙の通信欄にご夫婦である旨と、氏名および卒業年、学科を必ず記入して下さい。

## 就職ガイダンス

平成29年10月28日（土）、L1号館41講義室において、理学部3年生、修士課程1年生、博士課程2年生を対象とした第23回就職ガイダンスが開催され、講演と集団模擬面接が行われました。

### 就職講演

「医療系、科学系商社の仕事と社会への役割」  
「就職で後悔しないために知るべきこと」

集団模擬面接 シミック・アッシュフィールド株式会社  
HRBC株式会社

アズサイエンス株式会社 岩井信秀氏（HC28）  
シミック株式会社 前田晴紀氏（SC9）  
藤田嘉一氏（HC17）  
茅田素子氏、石上裕美子氏

## 『模擬面接を体験して』

物理学科3年 上妻 瞭人

今回は、就職ガイダンスで模擬面接の体験をさせていただきました。実際に面接をしてみて上手くできませんでしたが、就職活動本番へ向けて自分の取り組むべき課題などがはっきりわかり、良いスタートがきれたと感じています。

今回初めて私はエントリーシートを書きましたが、自分の思いを伝えられるように何度も加筆修正をしたつもりでした。しかしエントリーシート講評では多くのご指摘をいただき、自分の書いたものが全然具体的ではなかったとわかりました。面接でも多くの人に見られる緊張から質問に上手く答えられませんでした。いくら自分のことだとはいえ、事前に準備をしっかりしていなくては企業様に伝えたいことを伝えられないと痛感い

たしました。

面接後には面接でのコツやアドバイス、企業様側が学生のどんなことを聞きたいのかなど、多くの今後に役立つことを教えていただきました。今回のようにしっかりと1人1人の改善点を指摘してくれる機会はそうないのでとても感謝しています。

最後に、今回模擬面接をしてくださった藤田様、茅田様、石上様、そしてこの時期にこのような体験をする機会を与えてくださったことに大変感謝するとともに、この経験を生かせるよう日々努力していきたいと思いま



## 『模擬面接に参加して』

MB1 榎原 里奈

模擬面接のお話を頂いたとき、インターンシップに参加するなど行ってきましたが、面接対策やエントリーシートの書き方等に関してはまだどのように対策しているのかも分からず手を付けられずにいた状態でした。

実際の模擬面接中は面接官の質問に対しずれた回答をしないこと、回答するときは落ち着いて早口にならないこと、この二点に重点を置いて取り組んだ結果、そこまで緊張もせず、意識していた点も守りながら回答することができました。しかし業界研究、自分の研究に対する知識、自己分析などの準備不足が

明るみに出て、突っ込まれた質問に対してスムーズに答えることができず反省点が多いものとなりました。さらに模擬面接後の講評からもその準備不足が指摘され、エントリーシートの添削では文章に一貫性がない等、厳しい講評を頂きました。ですがこのようなプロの方たちから沢山の講評を頂いたことで、今の自分には何が足りておらず、何をしなければいけないのかははっきりとし、就職活動に向けての自分のモチベーションが上がりました。

プロの面接官を相手に、大勢の前で面接を受けたこの経験は必ず自分の糧になると確信し、今後の就職活動に生かして頑張りたいと思います。

今回このような機会を与えて下さり、本当にありがとうございました。

## 『模擬面接に参加して』

MB1 三輪 亮太

就職活動を控える中、模擬面接に参加させていただき、貴重な経験となりました。まだほとんど就職活動に取り組んでいなかったのですが、今回の就職ガイダンスで早めに就職活動を意識することができました。

面接に慣れていない中で、人前で面接をすることは緊張しましたが、その分得ることも多くあったと感じました。ある程度予想していた質問に対しても、人事の方から深くその内容を問われると回答に詰まってしまったので、面接に対する準備不足を痛感しました。面接の評価を受ける機会はほとんどありませんが、今回、人事の方からのフィードバックをいただき、今後の就職活動においてとても参考になりました。厳しくも優しい



右2番目：三輪さん、右：榎原さん

アドバイスをいただくことで、今後どのような姿勢で面接に臨めばよいか学ぶことが多くありました。面接のフィードバックを受けることで、自分に今何が足りないかを認識することができました。今回の経験を活かして、これからの就職活動に臨みたいと思います。このような貴重な機会を与えていただき、ありがとうございました。



## 近況報告バトンタッチ

『現役を過ぎたOBとして』

HC3 今井 利夫

北里大学衛生学部化学科を卒業（1968年）して既に50年になろうとしております。大学時代は有機化学教室で卒業研究（「抗ウイルス剤の合成」・「ピルビン酸の新規分析法の開発」）をさせていただきました。ピルビン酸に関する研究がきっかけで卒業後は衛生技術学科の助手に採用され、生化学の分野に足を踏み入れることとなりました。その後、縁あって東邦大学理学部（生理化学教室）に移り、在職34年間に350余名の卒研究生ならびに大学院生と出会い、主に下等な脊椎動物を用いた各種酵素の祖先型遺伝子の特定やそれら遺伝子の分化・進化・代謝調節に関する研究を通してかけがえのない絆を築くことができました。私は母校（9年間）と他大学の2つの大学に勤務し定年（現在、東邦大学名誉教授）を迎えましたが、その間に多岐にわたる分野の先生方や学生さんとご一緒させていただき多様な発想・思考のあることを学びました。この様な多くの人々との素晴らしい出会いの中で“人としての3つの幸せ（してもらう幸せ、自己実現の幸せ、してあげる幸せ）”のすべてを叶えさせて頂いた様に感じております。

しかし、同時にいざ“定年”となり、自宅を過ごす日々が始まると“何をしたらよいのか”人生の目標を見失った様な表現のしようもない空虚感にさいなまれました。自ら歩んできた人生を振り返りますと、学生時代はもとより、卒業後の大学在職中も自身の人間的な度量の狭さから、ただ目の前の事柄だけにながむしゃらに立ち向かい全力疾走してきただけの人間であることに気づかされました。従って、退職を迎えた途端、目の前の目標を見失い途方に暮れてしまったのです。今更ながら自らの不徳のいたすところであり、特定の趣味もなく、人間としてのつき合い方も下手で、かつ、その範囲も限られていて、社会人としての資質が著しく欠如していることを身にしみて感じました。

退職後、ただ無目的な日々を過ごして約1年が過ぎようとしていた時でした。そんな私の人間性をよく知る複数の院修了者から連絡を受けました。それは首都圏に在住する有志の者が“年2回、囲む会を企画したいので必ず出席してくださいね”と言うものでした。家に閉じこもりがちだった私にとって久しぶりに顔を合わせた面々は皆生き生きとしていて、それまで何も手につかなかった私もつつい話の輪に引き込まれてしまいました。偶然かも知れませんが、出席者の多くは生命系や医療系の大学に所属していて、以前、その中の数名の人は推薦状を通して動向が分かっておりましたが、嬉しいことにそれ以外にも複数の者が教授や准教授として活躍しておりました。会を重ねる毎に話題も「最近の実験でこんな面白いことがあったよ」とか、「今度、うちの大学にこん

な新しい装置が導入されたよ」等々……互いに異なる大学に所属していながらも元は同じ研究室の仲間同士「実験装置を貸してくれない」、「今度、共同研究しようよ」などと、会話の範囲が広がっていくのを身近で感じるにつけ、私も“漫然としてはられない”と心身共に刺激されてくるのを実感するのでした。そして、現役を引退した老骨の私に対しても、時には論文の添削を依頼されることもあって……、最近には会に出席するたびに、私に対して無言のうちに「退職したからと言って家の中に閉じこもってばかりいないで、もっと活動的に身体を動かし、頭の体操をなささい」とでも諭されてる感じさえ受けています。それはまさに人として、再び“してもらう幸せ”をかつての若い仲間達からいただいている様です。これからの私にとって“自己実現の幸せ”を味わうことは難しくなってきましたが、可能な限り社会的なつながりを見出し、微力ではありますが“してあげる幸せ”を味わいたいと遅まきながら考え始めている昨今です。

終活を始めた私が、最近、在職時の書類を整理していた時のことです。以前、何気なく書き留めておいた詩「Youth（青春）：S・ウルマン」の一節が目にとまりました。「青春」とは、人生のある期間ではなく心の持ち方を言う。たくましい意志、豊かな想像力、燃える情熱を指す。年を重ねるだけで人は老いない。理想・勇気・冒険心がある限り君は若い……」。作者のウルマンは米国でも知る人の少ない“幻の詩人”だったそうですが、この詩は78歳の時に書かれ80歳の記念詩集に収められたと言われています。私はまだ70歳を過ぎたばかり、これからの自らの生き方を考えた時、せめて気持ちだけでも、常に“青春”の心持ちを忘れずに残された人生を歩んでいきたいと願っております。

以上、現役を過ぎたOBの1人の近況報告とさせていただきます。

次のバトンは衛生学部化学科4回生の小屋原伊一郎さんにお渡します。



ある日の会の1コマ（左端が著者）

## 近況報告バトンタッチ

HC31 村野 光男

同窓生の皆様こんにちは、衛生学部化学科第31期生の村野光男です。卒業してから20年以上経ちすっかり中年になってしまいました。

簡単に在学中の履歴を紹介します。1992年に衛生学部化学科に入学、化学研究部に所属し3年の時には学責を務めました。今回の近況報告は当時の化学研究部の先輩からの紹介で書かせていただくことになりました。4年生の時は反応機構研究室で大石先生・栗山先生の指導の下で卒業研究を行いました。先生方の指導のおかげで卒業前に日本化学会にてポスター発表をさせていただくという貴重な体験もできました。

現在私は、環境リサーチ株式会社という会社に勤務しています。事業内容はアスベスト、シックハウス、臭気、カビ、音響、放射能等の一般環境や室内環境に関わる調査・分析を主業務として、最近ではIoTを利用した調査・モニタリング等も手掛けるようになってきました。

その中で私は、品質管理部品質管理課の課長、ISO17025の品質管理者として分析や報告書等の成果物に関する品質管理を担当しています。品質管理といっても、当社業務の性格上モノとして製品があるわけではなく、あくまで分析の結果であるデータや所見等といった形の無いものが成果物となるため、完成品検査といったたぐいのものではなく、成果物である報告書の内容に対する品質管理もさることながら、その結果にたどり着くための調査や分析のプロセス全般についての品質管理を行っています。もちろんこういったことは品質管理課だけが頑張ればできる訳でもなく、業務に携わる全ての部署の協力がなければ成り立たないので、部署間の連携・協力のために調整役のようなことも行っています。気を使う仕事ではありますが、その分遣り甲斐もあり、上司、部下、同僚にも恵まれ、楽しく、充実して仕事をしています。

ちなみに、環境リサーチは社員が90人程度の会社なのですが、その中に北里大学の卒業生が私も含めて5人もいます。出身校別の比率でみると社内で1,2を争う勢力になります(笑)。それぞれ出身学部も年齢もまちまちなので、なかなか大学時代の共通の話題というはないのですが、一人だけ学生時代には交流はなかったものの他学科の同じ学年だった人もいて、その人とは飲み会の席などで共通の友人の話題やキャンパスの思い出話などで盛り上がっています。取引先にも4年の時の研究室で大学院生だった先輩もいて、世間は狭いものだな、などと感じるとともに、卒業生の皆さんが社会でそれぞれに活躍されているのを実感しています。

プライベートでは、今年は長女が大学受験のため夏期

講習だ、模試だと休みがつぶれてしまうので、なかなか家族で出かけることができません。受験が終わったら家族旅行でもできればと思っています。高校受験までは勉強を教えたりすることもあったのですが、高校に入ってから、特に受験勉強については娘が文系ということもありまったく手が出ず、「本当に大学は入れたの？」などと疑われてしまう有様です。

自分自身まだ気は若いのですが、最近健康診断でちょこちょこ引っ掛かってしまったり、夜更かしがづらくなってきたりと体力的な衰えも感じています。楽しく生活するにはまず健康第一ということで、今のうちに少し運動でも始めて体力を回復させていこうかと考えています。とは言いつつ、なかなか実行には移せないんですよ・・・

卒業生の皆さんも健康に気を付けて仕事に家庭にと楽しくお過ごしください。皆様のご活躍を祈念しております。

最近、大学時代の友人ともあまり会えていないので、この近況報告を機にまた交流が持てればと思っています。私から誘いがあったときには付き合ってください。

衛生学部化学科第30期生 中山享子さんにバトンタッチ。





## 近況報告バトンタッチ

### 『～病理学の変わり者～』

SP8 松本 俊英

「北里大学にもう来ることはないと思います、有難うございました」

入学試験の出来なさに自信をなくし、試験会場の北里柴三郎先生の胸像に挨拶をしたのが17年前のお話です。

私は2005年に理学部物理学科を卒業した松本俊英と申します。現在は北里大学医学部病理学の助教として6年目を終えようとしております。おそらく「物理学科卒業なのになんで医学部？なんで病理学？」と思っておられるかと思います。もちろん、今の私は当初から思い描いていた将来像ではありませんし、このような変わった経歴のある日本人はそうはいないかと思えます。私が医学の研究者となったきっかけは、生体分子動力学講座の前田忠計名誉教授と小寺義男准教授のおかげです。ふと目に映った「癌」という単語に興味を抱き、卒業研究でテーマにしたいと申し出たところ、医療衛生学部遺伝子検査学（現・臨床検査学）研究室の佐藤雄一教授に指導を受けてはと提案されました。物理学科は外研へ行く制度はありませんでしたが、先生方の大変なご尽力のもと卒業研究をする機会を頂きました。もともと大学には教員免許の取得とサークル活動のみを目的に通学していた私でしたが（こう言っては失礼かもしれませんが…笑）、卒業研究を通して得られた新しい知見にワクワクし、気付いたら博士課程まで進学しておりました。前田先生からは「研究は遊びのようなもの」、小寺先生からは「研究者は遊び人が向いていると思う」という言葉の意味が、後になってようやく理解出来たことを記憶しております。

医学博士取得後は製薬ベンチャー企業の研究開発職へと就きましたが、元来持ち合わせている自由気ままな性格（笑）は企業で性に合わず、現在の職場へ転職致しました。医師免許はないですし入職する宛があったわけではないため、自分から売り込みに行った勇氣に自分を褒めてあげたいところです。また、その時話を真剣に聞いて

てくれ入局を許可してくださいました三枝信教授には、今後何年経っても感謝しきれない思いでいっぱいです。医学部では、もちろん診療活動は出来ないため、研究と教育が私の仕事となります。今現在の研究は「子宮内膜症関連卵巣発癌の分子機序解明と臨床応用」が主なテーマとなります。女性の社会進出とそれに伴います晩婚・少子化により増え続けております子宮内膜症は、長期罹患により卵巣癌が発生することは知られております。しかし、その発癌機序は明らかとされておらず、早期診断法や新たな分子標的治療法が必要であるため、病理検体と分子生物学的手法を用いて日夜研究に励んでおります。また、教育に関しましては、医学部、看護学部、医療衛生学部で病理学の講義と実習を担当しております。また、実臨床の話が出来るようカンファレンスへも積極的に参加しております。学生時代はあまり出席率が良い方ではなかったので、遅刻・欠席に関して厳しく指導している自分に違和感がございます（教え子には見られたくない文章です笑）。ただ、学生には「受けさせる講義」ではなく「受けたい講義」としてもらえることを一番に心がけておまして、この点は教職の講義や教育実習で身に着いたことがここで生かされているのだなと実感しております。

私生活では昨年の4月に入籍致しまして、しっかり者の可愛い奥さんのおかげで幸せな毎日を歩んでおります。結婚という節目で新たに生まれた責任感を胸に、今後も北里大学の卒業生として恥じぬよう、社会で活躍できるように日々邁進して参りたいと思っております。

最後になりますが、本稿執筆の機会を下さいました1期生の福島芳範さんに感謝申し上げます。また、このバトンは理学部同窓会総会時にいつも話をしてくれます小林宣之さんに託します。



## 近況報告バトンタッチ

### 『バイオベンチャー企業での挑戦』

SB6 石澤 洋平

理学部生物科学科6期生の石澤洋平と申します。この度、同期の村岡大輔くんよりバトンを受けましたので、近況報告させていただきます。

私は2003年に理学部を卒業、大学院基礎生命科学研究所に進学し、2005年に修士課程修了後に現在の勤務先である㈱DNAチップ研究所に就職しました。

大学では4年時から生物情報科学講座に所属し、柴忠義先生、伊藤道彦先生のご指導のもと、修士課程修了時までアフリカツメガエルの細胞の生と死にかかわるシグナル伝達機構の解明を目的とした研究を行いました。当時新規に同定されていたアフリカツメガエル特有の細胞膜上のレセプター分子に結合し細胞内へとシグナルを伝える遺伝子群をクローニングする所から研究をスタートし、細胞株での発現系実験等によりその機能解析を行いました。日々研究に没頭し、修士課程修了時には、卒業論文と合わせて、研究成果を英文雑誌に投稿し、後にアクセプトされるという貴重な経験をする事ができました。これも私がこの研究室に配属となり、研究に関する経験、知識等が乏しい中で、長きにわたりご指導を賜った先生方のおかげと感謝しております。この場を借りてあらためてお礼を申し上げます。

現在私が勤務している㈱DNAチップ研究所は、ヒトゲノムプロジェクトが話題であった90年代後半に設立された大学発ベンチャー企業です。ヒトゲノムプロジェクト後、遺伝子研究が活発化する中で、国産第1号となるDNAチップの製造販売を開始しました。以降、遺伝子解析を中心とした研究者向けの受託解析サービスと、独自の遺伝子解析を中心とした研究開発を行っています。入社して3年目に、初めて提案、企画から開発、商品化さらには販売支援に携わった、教育現場での使用を目的としたDNAチップ体験キットを販売しました。口腔細胞から自分のDNAを抽出し、アルコール代謝関連遺伝子の一塩基多型を、自身で作製したDNAチップで検出するキットです。これは、私が大学院時代にアシスタントとして学生実習を担当した経験、さらには大学での研究活動を通じて目の当たりにした先生方の指導に影響を受けたことから、研究者の卵である学生に、先端の技術を参考書等で見ただけでなく、体験し学んで欲しいと強く感じ、そうした願いを込めて世に出した製品でした。今では大学だけでなく高等学校等でも利用が広がっており、微力ながら企業の立場から科学教育への貢献ができ

たのではないかと感じています。その後は自己免疫疾患である関節リウマチの薬剤の効果を予測するバイオマーカー探索プロジェクトに従事しました。関節リウマチは治療が長期に渡る疾患として知られていますが、近年、優れた薬剤等の登場により、早期の適切な治療を行うことで完解の状態を維持できるようになりました。しかしその薬剤の効き目には個人差があることが分かっています。私たちは遺伝子解析のアプローチから、その効果を予測できるバイオマーカーを見つけることに成功し、個人個人に最適な治療の選択を可能とする個別化医療の支援に向けた取り組みの一環として、大学病院と連携し研究開発を継続しています。現在は、受託解析部門で研究コーディネートの業務に携わっています。本部長として一部門を管理する立場になり、私自身は研究に直接携わることはなくなりましたが、これまでの知識と経験を生かし、先端を歩む研究者を影でしっかりとサポートできるサービスを提供し続けられるよう頑張っています。

私生活では、大学時代の同期であります寺澤(旧姓)まどかさんと結婚しました。仕事や人生で迷ったときに自分にはない洞察で助言をくれるなど私にとって良き理解者であり、人生を共に歩むパートナーとして互いに切磋琢磨しながら充実した毎日を過ごしています。

より社会に貢献できるものづくりを進めていくにあたり、大学時代の貴重な経験を糧に、さらに自分自身を磨き、今後もチャレンジしていきたいと思っています。

次のバトンは同じ研究室出身の理学部生物科学科7期生 小野澤亮さんに渡します。



# 同期会報告

## 今年もベルマーレで同期会開催

HC6 上野 紀道

平成24年の北里大学内の「松実」でリスタートした衛生学部化学科6期生の同期会は、今年で6年目を迎えた。白金キャンパスの整備に伴い、会場を渋谷のトラットリア・ベルマーレに移しての開催も4回目となったが、この会が継続できているのは我々後輩の我儘を快く受け入れて頂いているベルマーレの木津オーナー（HC2）の寛大さに寄るところが大きく、改めて感謝を申し上げたい。

さて、この会は東京オリンピック・パラリンピックまで続けたよう約束して始めたのだが、その東京オリンピック・パラリンピックもいつのまにか1,000日を切るまでになった。

今回の同期会もフルマラソンに例えると30km付近を過ぎた距離で一番しんどいところなはずだが、出席された皆さんの表

情は42.195kmが中間点ではないかと錯覚するほど意気軒昂であった。

我々の多くは69歳から70歳である。一人ひとりに年相応の歴史があり、今回も言葉を越えた良い時間を共有することができたことは幹事としてとても嬉しく、来年の再会を楽しみに暮れなすむ渋谷の街を後にした次第である。



## 毎年開催

### 23回目の同期会（平成29年12月30日）

HB4 秋本 護

衛生学部生物科学科4期生の同期会は細々と平成7年から毎年12月30日に行っております。人数は多い年で15名くらい、少ない年は3名と平均6～8名です、今年は8名集まりました。卒業してから毎年実施し今回で23回目です。（卒業して23年が経ちました。）

なぜ12月30日かと言いますと、郷里に帰る人も、地方から戻って来る人も参加できる忘年会だからです。今年は山形から参加者がいました。

話の内容も最初は月給やボーナスの事でした、そのうち仕事の愚痴になり、恋愛や結婚の相談に代わり、最近は既婚者中心に子供の事や健康についての事が多くなりました。



今後は親の介護や年金の話と変わっていくのでしょうか。もう中年のおっさんになりましたが、今でも心は23年前のままです。

来年もまた翌年もその次の年も12月30日 17:00に都内に集まり飲む事でしょう。

## 集会援助手続

### 理学部同窓会会員集会援助をご利用ください

#### 【集会責任者】

- (1) 集会援助申請書類の入手  
(事務局に問合せ、又はHPからダウンロード)  
① 会員管理システム利用申請書  
② 集会援助金申請書

- (2) 申請書①に責任者3名の署名・捺印
- (3) 申請書①の提出（事務局へ持参、又は郵送）

- (4) 集会開催 ※

- (5) 申請書②および③訂正された会員データを提出  
(事務局へ持参、または郵送)

- (6) 集会の様子を原稿にして同窓会にご連絡ください！（任意）

#### 【理学部同窓会・事務局】

事務局の連絡先  
〒252-0373 相模原市南区北里1-15-1  
TEL/FAX 042-778-9032  
E-mail info@kitasato-rigaku-d.jp  
ホームページ  
http://kitasato-rigaku-d.jp http://北里大学理学部同窓会.jp

本会理事会での承認

申請のあった名簿一覧と郵送用タックシールの作成・提供

②、③を確認後、集会援助金を助成  
(案内状印刷・郵送費として、200人までの集会では¥200/人、201人から¥100/人)

#### ※援助を受けられる集会

- ① 同期会
- ② 参加者の60%以上が本会正会員で構成される30人以上の集会
- ③ 医療衛生学部同窓会会員と合同で開催し、参加者の30%以上が本会正会員で構成される30人以上の集会

#### 「同期会や研究室の同窓会を開催予定の方へ」

理学部同窓会では、正会員が同期会や研究室の同窓会（以下、同期会等という）を開催される場合に、当該名簿リストやタックシールの提供、それに通信費用の援助を行う事業を行っています。

加えて、平成29年より同期会等の開催を本会ホームページに掲載するサービスを新たに開始しておりますので、是非本制度をご活用下さい。

詳しくは理学部同窓会のホームページ（<http://kitasato-rigaku-d.jp/>）をご覧ください。



## 大村智先生講演会開催

一昨年にノーベル生理学医学賞を受賞された大村智特別荣誉教授の講演会が以下により開催されました。

日 時：平成29年11月23日（木）〔祝日〕15時30分～17時00分

場 所：大村記念ホール（白金キャンパス）

演 題：「私の歩んできた道」

これに先立ち、15時から生命科学研究所1階において、大村記念ホール（旧薬学部コンベンションホール）に設置された大村先生のレリーフ（制作：柏原花子女子美術大学名誉教授）の除幕式が行われました。ちなみに当該レリーフは、北里大学同窓会及び北里大学薬学部同窓会（薬友会）からの寄贈によるものです。

これらのイベントは、薬学部、北里大学同窓会及び薬友会の共催事業であり、Webで応募された多くの卒業生が出席しましたが、本会からは、沼上会長（大学同窓会副会長）をはじめ、長原副会長、千葉副会長、甲斐理事、蓮沼理事、島崎理事らが出席しています。



講演される大村先生



「記念レリーフを囲んで」  
左から伊藤学長、小林理事長、大村先生、柏原女子美大名誉教授

## 鹿児島支部設立のお知らせ

理学部同窓会の皆さま、こんにちは。

平成30年のNHK大河ドラマ「西郷どん」と国体開催にわく鹿児島県からのご案内です。この度、本学同窓会発足以来、およそ半世紀を経て鹿児島県支部が誕生しました！平成29年11月25日（土）に設立総会を開催し、芋焼酎を嗜みながら、懐みつつ交友を広げる楽しい空間をつくりあげています。

獅子島から与論島までの南北600km超にイッペコッペ（あっちこっち）散らばる同窓生による情報交換も魅力の一つです。離島開催なども目指して参りますので、新しい形の同窓会づくりにご参

加ください。

同窓会未発足の隣県・宮崎県の同窓生からも「どげんかせんといかん」とお声を耳にしていますので、当支部との南九州連携で一緒に盛りあげていけましたら幸いです。

また、鹿児島県内の住所登録がなくても、本県にゆかりのある同窓生も歓迎しております。ぜひともお気軽にお問い合わせください。アイガトサゲモシタ。

鹿児島県支部 支部長 加藤紳 (FA19)

kato@seahorseways.com

## 理学部事務室より

### ● 平成30年オープンキャンパス開催情報（予定）

- 第1回：平成30年3月18日（日）  
 第2回：平成30年8月4日（土）、5日（日）  
 第3回：平成30年8月26日（日）

### ● 平成30年進学相談会開催情報（予定）

- 第1回：平成30年9月30日（日）  
 第2回：平成30年11月3日（土）、4日（日）  
 11月3日（土）、4日（日）は北里祭が同時開催されます。  
 オープンキャンパス、進学相談会ともに理学部S号館内では、各研究室、実験室を開放し様々な展示及び体験型実験教室を開催しております。また、相模原キャンパスは、臨床教育研究棟（IPE棟）が竣工（平成29年8月31日）しました。ますます進化していく母校を是非お訪ねください。

なお、理学部入試の過去問題、パンフレット等の頒布を行っております。詳細は北里大学ホームページ（<http://www.kitasato-u.ac.jp/>）をご覧ください。

### ● 教材の貸し出しを行っています

教員となられた卒業生の皆様に、ニワトリ胚標本、透明骨標本セットを教材として貸し出しています。教科書で教える動物発生よりも後の段階となりますが、肉眼で観察できますので、生徒の興味を惹く素材としてご利用いただけます。

詳細は下記（学生課）までお問い合わせください。



### ● ハーバード大学との国際交流

理学部では、8月にハーバード大学との国際交流プログラムがあります。このプログラムは2009年度から実施しており、国際的な視野を備えた研究者の育成を目指し、米国ハーバード大学の研究者と交流を深めています。

本プログラムは、派遣・招聘を隔年で実施しています。2017年度は、7月18日（火）～7月21日（金）の4日間に本学部へ4名の研究者を招聘し、ミーティングやセミナー、研究室の見学などを通じて教員や学生との交流を深めました。2018年度は10名の学生がハーバード大学へ行き、世界トップクラスの研究環境を体験する予定です。

### ● 求人情報をお寄せください

本学部の就職状況については、理学部同窓会のご支援もあり、毎年100%近い就職率を維持しておりますが、昨今の経済状況を鑑みると決して楽観出来る状況ではありません。学生たちは学業の傍ら、厳しい就職活動をくぐり抜けなくてはなりません。そこで、同窓会の皆様におかれましては、益々のご支援、ご協力を賜りたくよろしくお願い申し上げます。

求人票の学生への周知や、学内での企業説明会のご要望などを随時承っております。

#### お問い合わせ先

##### 理学部入試に関すること

T E L 042 (778) 9172 (入試係直通)

F A X 042 (778) 9953

##### 就職に関すること

T E L 042 (778) 8545 (学生係直通)

F A X 042 (778) 9953

##### 大学院入試に関すること (理学研究科入試係直通)

T E L 042 (778) 9083

F A X 042 (778) 9953

## 2019年度(平成31年度)理学部入学試験日程(予定)

2019年度(2018年度実施)入学試験日程(予定)は以下のとおりとなっています。

理学部では、生命科学の基礎分野で研究力を身につけた人材を社会に送り出すことを使命とし、充実した教育・研究を実施しています。これらの使命をさらに発展させていくため、北里大学理学部の志を受け継いだ同窓生のご子弟の方々の入学をお待ちしております。

(※推薦及び一般入試の受付期間に変更がある予定ですので、ご了承ください。)

公募制推薦	募集人員	物理学科 4名 化学科 10名 生物科学科 13名		
	試験日	平成30年11月25日(日)	試験場	相模原キャンパス
	受付期間	平成30年11月1日(木)～平成30年11月16日(金)		
	合格発表日時	平成30年11月30日(金) 13時 Web出願システムのマイページ		
指定校推薦	募集人員	生物科学科 7名 化学科 5名		
	試験日	平成30年11月25日(日)	試験場	相模原キャンパス
	受付期間	平成30年11月1日(木)～平成30年11月16日(金)		
	合格発表日時	平成30年11月30日(金) 13時 Web出願システムのマイページ		
一 般	募集人員	物理学科 24名 化学科 50名 生物科学科 38名		
	試験日	平成31年2月2日(土)	試験場(3会場)	相模原キャンパス・大阪会場・仙台会場
	受付期間	平成30年12月14日(金)～平成31年1月21日(月)		
	合格発表日時	平成31年2月8日(金) 13時 Web出願システムのマイページ		
センター試験利用(前期)	募集人員	物理学科 12名 化学科 10名 生物科学科 17名		
	試験日	平成31年1月19日(土)・20日(日)(大学入試センター試験)		
	受付期間	平成30年12月14日(金)～平成31年1月18日(金)		
	合格発表日時	平成31年2月8日(金) 13時 Web出願システムのマイページ		
センター試験利用(中期)	募集人員	物理学科 10名		
	試験日	平成31年1月19日(土)・20日(日)(大学入試センター試験)		
	受付期間	平成30年12月14日(金)～平成31年2月4日(月)		
	合格発表日時	平成31年2月20日(水) 13時 Web出願システムのマイページ		
センター試験利用(後期)	募集人員	物理学科 3名 化学科 5名 生物科学科 5名		
	試験日 (本学部の課す個別試験)	平成31年3月1日(金)	試験場	相模原キャンパス
	受付期間	平成31年2月12日(火)～平成31年2月20日(水)		
	合格発表日時	平成31年3月6日(水) 13時 Web出願システムのマイページ		



## 【就職情報・求人票ご提供のお願い】

北里大学就職センターでは、各企業・機関から受領した貴重な求人情報は、「進路支援システム」（本大学学生用就職情報公開サイト）に一括掲載し、全キャンパスの学生がWebで閲覧できるシステムになっています。

同窓会の皆様からも是非、後輩のために求人情報等を就職センターにご提供ください。手続きにつきましては、本学ホームページ「資格・就職」から「求人受付NAVI」を通じて入力できますし、ご郵送・FAX・E-mailでも受付けております。

卒業後に転職・就職を希望している方も「進路支援システム」がご利用できます。ご利用頂く場合には、ID・パスワードが必要となりますので、就職センターまでご連絡ください。

【北里大学 就職センター】 TEL 042-778-9745  
E-mail syusyoku@kitasato-u.ac.jp

## 同窓会からのお知らせとお願い

平素は同窓会活動にご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。以下の点につきまして、会員の皆さまにお知らせとお願いがございます。今後とも、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

### 「理学部パンフレット同封について」

2008年第11号の会報発送より、北里大学理学部パンフレットを毎年1,000名の方々に同封しております。現在の北里大学理学部の様子がわかる他、ご子息・ご息女やお知り合いの方々に北里大学理学部をご紹介いただければ幸いです。

### 「同窓会へのメールについて」

近年、迷惑メールが増加しております。その判別のために、会員の皆さまが本会にメールされる場合は、「件名」欄に以下の事項をご記載下さいますようお願い申し上げます。

＜卒業年または卒業期、卒業学科、氏名＞

記載例：1971年化学科卒業 理学太郎 または  
6HC 理学太郎

### 「会報への寄稿について」

同窓会会報は年に1度の同窓生との交流の場です。皆さまの近況報告や同期会のお知らせ、大学時代の思い出などをお気軽に寄稿下さい。同時に、会報へのご意見もお寄せいただければと思います。



## 編集後記

同窓会会員の皆さま、こんにちは。物理学科1期生の酒井です。皆さまのご協力により、理学部同窓会報第21号が完成しましたのでお届けします。ご一読頂けましたら幸いです。発行に際しまして、ご寄稿いただきました方々に、この場をお借りし、お礼申し上げます。

平成29年9月相模原キャンパスにIPE棟（臨床教育研究棟）が竣工しました。IPEはInterprofessional Educationの略で、学生さんをはじめ教職員や病院スタッフが臨床のトレーニングを行う場としても利用が期待されています。1階にある食堂はショッピングモールのフードコートのように、ローストビーフ専門店が入り、デザートも充実しています。相模原キャンパスはこの20年で想像がつかないような変貌を遂げました。タイムマシンに乗って大学生の私に、将来キャンパス内にスターバックスができることを教えてあげたいと常々思います。

理学部同窓会では、会報に掲載する記事を募集しております。同期会開催の際は、近況等を是非事務局までお寄せください。会報につきまして、ご意見ご感想などございましたら、今後の紙面作りに反映させていただきますので、事務局までメールでお寄せ下さい。今後ともご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

## 北里大学理学部同窓会報

発行 平成30年1月31日  
発行者 北里大学理学部同窓会  
〒252-0373 神奈川県相模原市南区北里1-15-1  
北里大学理学部内 TEL/FAX 042-778-9032  
E-mail : info@kitasato-rigaku-d.jp  
責任者 沼上清彦



資源循環型畜産で育った牛肉

# 草熟北里八雲牛の加工食品



## 五島軒



北里大学  
KITASATO UNIVERSITY



五島軒

創業明治12年 / 函館  
五島軒は初代店主、若山惣太郎がロシア料理とパン・ケーキの店として明治12年に創業しました。明治19年の大火後フランス料理店として再出発し、以来みなさまにケーキや洋食・カレーなど多彩な味をお届けしております。

### 「これがレトルトカレー!？」

北海道の旨みがギュウッとつまった贅沢なカレーを皆様に

## ビーフカレー

1パック 540円



ハンバーグ  
1パック 400円



ビーフシチュー  
1パック 648円



コンビーフ  
1箱 (3缶入り) 1,500円  
1缶 500円



品質に配慮した赤身肉!

こだわり

### 北里八雲牛

八雲町の風土に適した日本短角種を中心に外国種と交雑。資源循環型畜産の理念を掲げ、放牧と自前の牧草のみで飼育しブランド化に成功しました。牧草の旨みとじこめたコクのある赤身肉は栄養成分も多く、北里大学の附属病院で病院食としても利用されています。

## 北里オリジナルグッズ

北里大学の徽章、ロゴ、スクールモットーである『Sophia Kai Ergon』等をデザインに取り入れた、数々のオリジナルグッズをプロデュース、販売しています。

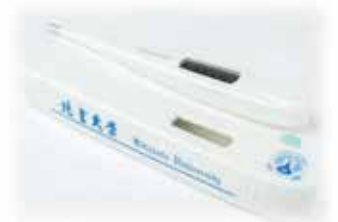


NEW

ハンドタオル (今治製) 540円



陶器マグカップ 864円



電子体温計 2,700円

※価格は全て税込になります

【お問合せ先】 北里ライフショップ

TEL: 042-778-7891

E-mail: [thanks@kitasato-life.co.jp](mailto:thanks@kitasato-life.co.jp)